○　採水口

１　主な用途

　採水口とは、消防車が“地中の貯水槽などから水を吸い上げるための吸水口”として使う機器で、消防隊が消火用水を確保するためのとても重要な装置です。

２　基準・規格

　消防法第１７条に定める消防用水及び第２１条に定める消防水利に設ける採水口としての性能を有すること。登録認定機関（(一財）日本消防設備安全センター）の性能評定品であることと定められています。

３　形状・呼称

　大きく分けて ①埋込型（壁埋込型） ②自立型 の二種類があり、また　それぞれ「開閉弁無し」と「開閉弁付き」があります。



埋込型（開閉弁無し）の例



埋込型（開閉弁付き）の例



自立型（開閉弁無し）の例

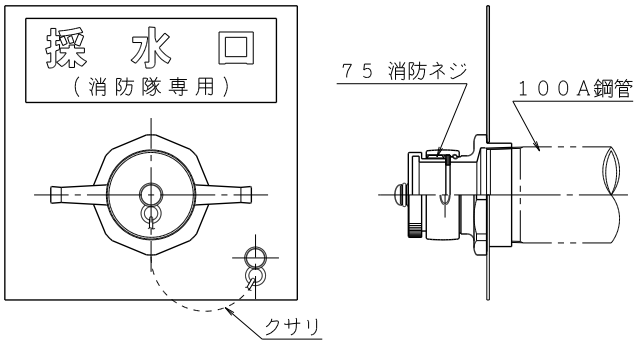


自立型（開閉弁付き）の例

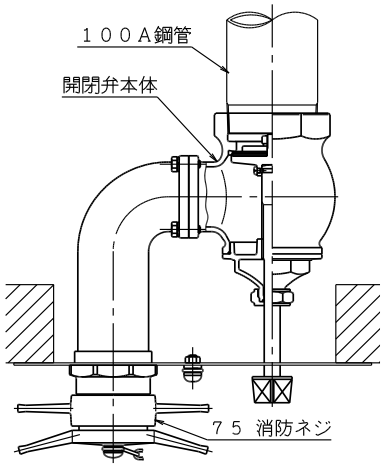
４　機器の構造・材質など

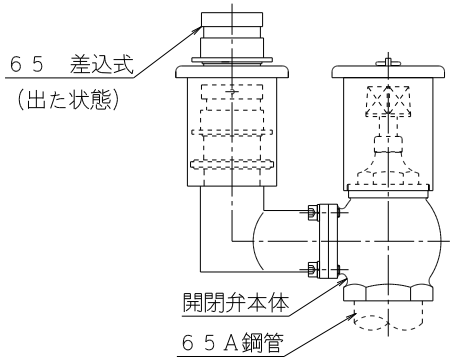
①　消防用水が地盤面下４．５ｍ以内の場合は、通常、吸水用の採水口を用います。
この場合、ホース接続口は「消防ネジ式」（呼び 65・75・100）となります。
消防用水を地盤面より高い部分に設ける場合や地盤面下４．５ｍを超える部分に設けて加圧送水装置等で加圧送水する場合は、採水口に圧力がかかるため開閉弁が必要となり、開閉弁付きの採水口を用いることが多いです。この場合は、「65Ａ差込式」形状の接続口もあります。

形状	構造	口数	結合金具 種　別	呼び径（A）	
				配管接続	結合金具
埋込型	吸水用 （開閉弁なし）	単口	ねじ式	１００ ８０ ６５	１００ ７５ ６５
	開閉弁付き	単口	ねじ式	１００ ８０	７５ ６５
			差込式	６５	６５

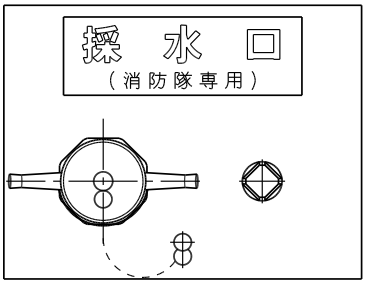


吸水用採水口「100Ａ×75Ａ」



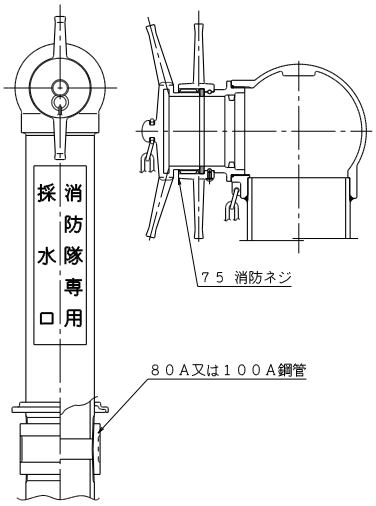


開閉弁付き採水口（65Ａ差込式）

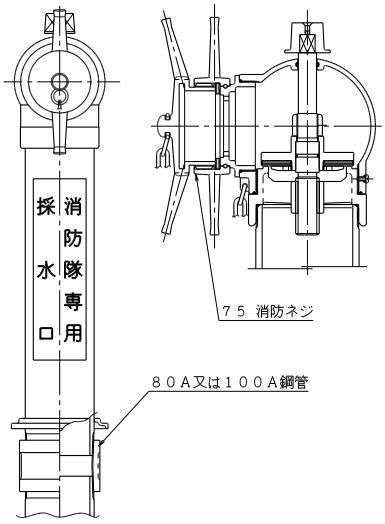


開閉弁付き採水口

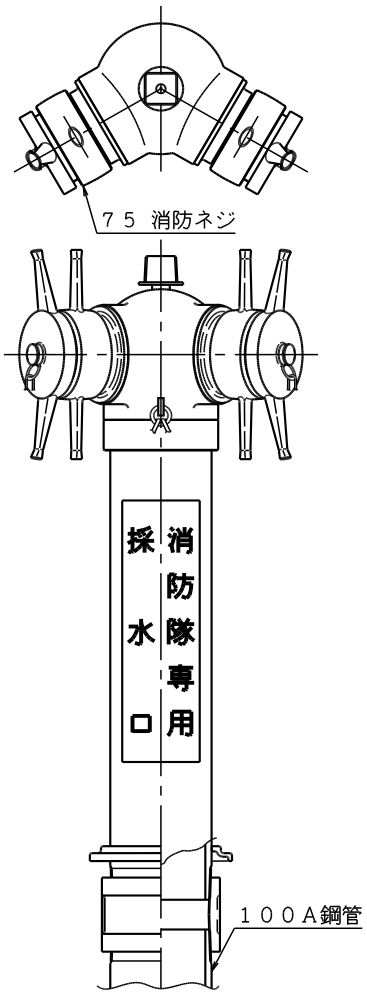
形状	構造	口数	結合金具 種　別	呼び径（A）	
				配管接続	結合金具
自立型	吸水用 （開閉弁なし）	単口	ねじ式	１００ ８０	７５
	開閉弁付き	単口	ねじ式	１００ ８０	７５ ６５
		双口	ねじ式	１００	７５ ６５
			差込式	１００	６５



吸水用採水口



開閉弁付き採水口



双口開閉弁付き採水口

② 材質など

主要な部品の材質は、日本産業規格（ＪＩＳ）で定められている銅合金（H5120)、及びステンレス鋼又はステンレス鋳物（G5121）にて製造されています。

５ 使用方法（※消防隊が使用する設備です）

① 消防ポンプ車を「採水口」の近くに配置する。
② キャップを外し、吸水ホースを接続する。
③ 吸水を開始する。(開閉弁付き採水口の場合は弁を開く）
④ 吸い上げた水を加圧し、ホースラインへ送水する。

６ 維持方法

点検は、法令で「6 月ごとの機器点検」が義務付けられています。

機器点検の内容

- 水源の水量は確保されているか。
- 周囲の環境維持。
- パッキンの劣化が無いか確認。
  ※パッキンの破損がある場合、空気を吸い込み、吸水が困難になります。
- 開閉弁がスムーズに動作するか。

参考 他製品





